

司馬遼太郎

第28回 メモリアル・デー

演 題

司馬遼太郎の描く幕末

参加者
募集

作家司馬遼太郎の業績を顕彰する集いを、毎年、誕生日8月7日を記念して開催しています。今回は、司馬文学に親しんでこられた木内昇さんにその魅力についてお話しいただきます。

講師 **木内 昇** (作家)

進行 田名部 真理 (ラジオ関西パーソナリティ)

○日時/令和8年8月7日(金)

午後1時30分～3時 開場：0時30分

○会場/姫路文学館講堂(北館3階)

主催：姫路文学館

協賛：公益財団法人司馬遼太郎記念財団

○定員/150名(申込多数の場合は抽選)



© 関めぐみ

きうち のぼり
木内 昇氏

昭和42年(1967)生まれ。出版社勤務を経て独立し、インタビュー誌「Spotting」を創刊。編集者・ライターとして活躍する一方、平成16年(2004)『新選組 幕末の青嵐』(アスコム)で小説家デビュー。平成20年(2008)に刊行した『茗荷谷の猫』(平凡社)が話題となり、早稲田大学坪内逍遙大賞奨励賞を受賞。平成23年(2011)に『漂砂のうたう』(集英社)で直木賞を受賞。平成25年(2013)に刊行した『榊道守』(集英社)で中央公論文芸賞、柴田錬三郎賞、親鸞賞を受賞。令和7年(2025)には『奇のくに風土記』(実業之日本社)で泉鏡花文学賞を、『惣十郎浮世始末』(中央公論新社)で舟橋聖一文学賞を、『雪夢往来』(新潮社)で大佛次郎賞、中山義秀文学賞を受賞する。他に『よこまち余話』(中央公論新社)、『光炎の人』、『かたばみ』(KADOKAWA)、『球道恋々』、『占』(新潮社)、『火影に咲く』、『剛心』(集英社)、『化物蠟燭』(朝日新聞出版)、『万波を翔る』(日本経済新聞社)、『浮世女房洒落日記』(中央公論新社)、『転がるように 地を這うように 一私の杖となった文学の言葉たち』(筑摩書房)、『きみがなきあと』(講談社)など多数。

申込方法

①往復はがき

氏名(ふりがな)・郵便番号・住所・電話番号および「第28回司馬遼太郎メモリアル・デー参加希望」と明記のうえ、[〒670-0021 姫路市山野井町 84 番地 姫路文学館]まで。

②WEB

姫路文学館ホームページの申込フォームから。

※電話・ファクスでの申し込みは不可。

※1申込2名まで。

申込
締切

令和8年7月15日(水) 必着

無料



姫路文学館

〈問い合わせ先：姫路文学館〉

〒670-0021 姫路市山野井町 84 番地 TEL.(079)293-8228 <http://www.himejibungakukan.jp/>